

授業 科目名	【G】 【H】 【I】	_____		区分	開講年次	【G】- 【H】- 【I】1	単位数	【G】- 【H】- 【I】2
	教養導入ゼミ			必修				
科目区分	基本科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	史資料をもとに考える				担当者	酒匂 由紀子		
授業概要	【概要】	この授業では、学生同士のディスカッションを通して日本史の史資料(絵画資料・文字資料・文化財)などを用いて様々な視点から情報を拾い上げつつ、現代社会における習慣や常識と論理的に比較することを行います。また、現代における様々な社会問題について、昔の対処方法についても読み解いていくを試みます。 問いを立て、答えのない問題について考えて行く力を養います。						
	【到達目標】	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを整理して述べる 他者の意見を受け止めつつ、意見を重ねていく 問いを立てつつ、問題解決方法を見つける能力を養う 						
履修条件	特になし							
アクティブ ラーニングの 方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との 関連性	教養演習							
教科書	特になし							
参考書	授業中に適時紹介する。							
評価方法	授業参加度・取り組みの姿勢(50%)、発表や課題提出状況・内容(50%)を総合的に評価する。							
フィードバック 方法	授業内課題やミニレポートに対し、授業の中でフィードバックを行う。また、適宜質疑応答を行う。							
評価基準	授業に積極的に参加して、学習した内容を十分に理解し、課題を達成できた者にはその程度により「S」または「A」、やや不十分の場合には、その程度に応じて「B」または「C」とする。参加度や達成度が著しく低い者はその程度に応じて「D」または「E」、全く参加しないなど判定不能な者は「F」とする。							

授業 科目名	【G】 【H】 【I】	_____	区分	開講年次	【G】- 【H】- 【I】1	単位数	【G】- 【H】- 【I】2
		教養導入ゼミ	必履修				
授業内容	<p>第1回 ガイダンスと学習計画 第2回～第11回 講義・演習 第12回 発表の用意 第13回～15回 発表</p> <p>※授業中に配布した史資料を無くさないようにする</p>						
予習内容	授業中に指示する 各回の予習時間は2時間程度 発表前には発表準備を行う						
復習内容	授業中に指示する 各回の復習時間は2時間程度						
その他	積極的な授業参加（発言など）を求める ※カリ:【必履修(○お)】						

だい